

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こころんクラフ高羽			
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日 ~ 2025年 12月 20日			
○保護者評価有効回答数 (対象者数)	20	(回答者数)	20	
○従業者評価実施期間	2026年 1月 5日 ~ 2026年 1月 16日			
○従業者評価有効回答数 (対象者数)	6	(回答者数)	6	
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	自分らしく過ごせるように、思いを引き出し心を満たした上で、やりたいからやってみように繋げていけるように関わっている。	特に自由遊びの際には、活動に満足感を得られるように可能な限り希望に添えるように設定している。	興味に合わせた対応を取れるように職員配置を取っていきたい。
2	支援対象を午前は未就学児、午後は小学生に設定した定員としているため、あまり広くはないスペースでもある程度の余裕を持って活動をできている。	要望と年齢に応じて午前と午後の人数の割合を設定している。	未就学児からそのまま就学してからの受け入れができるため、今後も切れ目のない支援を行っていきたい。曜日によって人数のバランスが異なるので要望を確認しながら調整をおこなっていきたい
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	面談や保護者の悩みなどを確認する機会が少ない。	連絡帳等で悩みなどを伝えていただける方以外への、ニーズを確認しに行く機会を持っていなかった。 定期面談を行っているが間が空くためその間の変化について相談機会を持ちにくい。	定期面談以外にも必要に応じて面談機会を設けていく。 困りごとなどを発信しにくい方には送迎時などに様子を伝えるとともにニーズについて把握できるようにしていく。
2	学習時間の活動スペースが有効に活用できていない。	下校時間に応じて順次学習を行っているが、先に学習を終えた児童が自由活動をする際の声や音が続いている児童の妨げになる場合がある。 学習机の不足。	活動室の声が学習室に響いてしまうことがあるので、先に終えて自由学習をする児童には静かにできる活動を提供する。
3			

事業所における自己評価結果						
事業所名		公表			事業所における自己評価結果	
事業所名		2026年2月1日			公表日	
環境・体制整備	1	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	2	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	・机上活動や運動活動など状況に応じて部屋を設定している	・勉強中に移動をお願いすることがあるので対応を考えていきたい
	3	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1		
	4	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	・必要に応じて遊具が見えないように目隠しをしている	・玄関から室内全が見渡せてしまうため構造化ができるとは言い難い。場面ごとに目隠しをするなどの工夫をしていかたい
	5	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0		・清掃は常にこなっていかたい
業務改善	6	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	・定期的に活動内容を振り返り、改善できるようにしている	
	7	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	2		
	8	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1		・全体から意見を集められる機会を作っていく
	9	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	5		・今後取り入れていきたい
	10	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2	・内外における研修の機会を増やしていく	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0		・見直しの機会を増やしていかたい
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。	5	1	・定期面談でニーズを把握できるようにしている	・要望についてをあらかじめ紙ベースで記載してもらい把握できるようにしていかたい
	13	個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	2		・最善の利益についての考察を深めていかたい
	14	個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	2		・全体活動とニーズに応じた個別活動とのバランスを取れるようにしていかたい
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	4		
	16	個別支援計画には、ガイドラインの「提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	・交代でリーダーを立て、相談しながら活動を設定するようにしている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0		・児童の状況や活動内容について話し合う時間を増やしていく
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて個別支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	1		・個別活動と全体活動の面ではまだ完全に支援計画に落とし込めていないことがある
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1		

21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	4	・勤務時間的に見直す機会が持ちにくいため療育日誌に記載して残す	
	6	0	・記録を元に定期会議を行い支援の振り返りと改善を図っている	・振り返り検証する機会を増やしていく
	6	0		・療育会議などで児童の状況を確認する機会を増やしていく
	5	1		
	5	1		・自由活動の時間を設定してはいるが、考えにくい子のために活動を選択できるように提示していく
26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	・担当者会議が行われる際には参加する	
	2	4	・特定機関とのかかわりは持てていない ・連携保育園とは職員間レベルでのかかわりはある	
	0	6		
	6	0	・連絡帳や送迎時に取り組みや課題などについて伝えるようにしている	
	1	5		・状況と要望に応じて行うようする
	4	2	・児童発達支援ではインクルージョンを意識した活動はあまりできていない ・保育園等の並行園とは送迎時に活動内容や様子を伝えている	
	5	1	・保護者の希望に応じて課題点や得意な点等引継ぎ文書としてまとめて伝えている	
	1	5		
	6	0	・おたよりや保護者からの連絡で行事を確認している ・学校への送迎時にタイミングが合えばその日の様子を聞くようしている	
	6	0	・児童発達支援から継続してきている子ばかりのため情報は把握できている	・連携は継続していく
36 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	-	-	・対象が小学生のためそのような機会はまだない	
	1	5		
	1	5	・児童館や公園等で交流できる機会を必要に応じて設けていく	
	1	5	・支援時間と被るため参加できていない	
	6	0	・契約時と利用料変更時に伝達するようにしている	・支援プログラムについても適宜伝えるようにしていく
	5	1	・要望については面談や文書で確認するようしている	・今後も利用児童に寄り添えるような計画を立てていく
	5	1		・内容についてしっかりと説明できるようにしていく
42 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・連絡帳や電話にて必要に応じてお伝えするようにしている	

▼ 護 者 へ の 説 明 等	43	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	6		・行う予定はないが、要望があれば検討していく
	44	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	2		・心掛けておこなっていく
	45	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	4		・何らかの方法で活動内容を伝えられるようにしていきたい
	46	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	47	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	48	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6		・防犯や安全性の観点からそれらの活動を行う予定はない
非常 時 等 の 対 応	49	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	・年間計画に応じて行っていく	
	50	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	2		
	51	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	・対応が必要な児童については周知し、可能な限り人員を追加できるような体制を取っている	
	52	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0		具体的な指示所はもらってはいないが、保護者の要望に応じてたいおうしていく
	53	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1		
	54	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1		
	55	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	2	発生した場合には周知、作成して会議等で改善策について検討する	
	56	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
	57	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	6	0		非常時の対応は常に想定しておきたい

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果								
事業所名		2026年 2月 1日						
		利用児童数			24名		回収数	
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	はい 16	どちらともいえない 4	いいえ 2	わからない 4	ご意見 奥まで見通せるので仕切りがあつてもいい	ご意見を踏まえた対応 活動に合わせて部屋を分けたり用具を設置する。整理整頓を心がける。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14					
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16			4	できるだけ構造化を意識していく	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19			1		
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20				あまり意識したことがない	
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されていると思いますか。	19	1				
	8	個別支援計画には、ガイドラインの「提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19			1		
	9	個別支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17	2		1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20					週案を立てておこなっている
	11	保育所や認定こども園、放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	5	3	5	7		社会性の面で必要であれば活動を考える
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20					
	13	「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17	2		1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	2	8	2		
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができているだと思いますか。	20					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20				子どもの話はよく聞いてくれていると思います	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	4	10	6		
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	1		3		

	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18	1		1		
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	4	7	4	5		以前は活動の写真入りのおたよりを発行していたが業務の効率化の兼ね合いで中止している。活動の様子をお伝え出来る場面を考えていきたい。
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	2		2		
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	1	1	4		
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	5		5		定期訓練は曜日替わりで行っていくようしたい
	25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	1		1		
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	1		1		マニュアルの整備・事故対応のロールプレイ等を行っていく。
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	18					
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	19	1				
	29 事業所の支援に満足していますか。	18	2				